

令和5年度 第1学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
1年美術 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	中野渡 寿子	週1～2時間 年45時間

1 教科目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表す力を伸ばす。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりする力を伸ばす。
- (3) 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり(アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を広げたり(鑑賞)することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、ネームカード
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術との出会い オリエンテーション ・美術を味わう	2	・発見や感動の大切さに気付く。	
		2	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
4～6	・見つめると見えてくるもの	8	・身近なものの中に潜む美に気づき、愛着をもって描こうとする気持ちを育成する。 ・用具の使い方の習得など、表現するために必要な基礎的な力を身に付ける。	
7～9	・文字っておもしろい	9	・身の周りの文字が情報伝達のためデザインされていることに気づき、興味をもつ。 ・文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、文字をデザインする。	

10～	・色彩の基本・仕組み	4	・色彩のよさや美しさを表現に生かす。 ・デザインの彩色方法を身に付ける。	
-----	------------	---	---	--

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10～11	・色彩の基本・仕組み	7	・色彩のよさや美しさを表現に生かす。 ・デザインの彩色方法を身に付ける。	
11	・美術を味わう	2	・造形的なよさや美しさ，作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り，自分の思いや考えをもつ。	
11～3	・祭りを彩る造形	11	・祭りに見られる造形のよさや美しさ，制作の意図と工夫，社会の中の美術の働きや美術文化に興味をもつ。 ・主題を生み出し，形や色彩，質感などを工夫して創造的な立体（お面）を作成する。	

4 授業への取り組み方，準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
 - ・忘れ物をせず，作品等の提出期限を守る。
 - ・聞く，考える，制作する，発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
 - ・よりよい作品を目指し，最後まで粘り強く制作する。
 - ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い，見方を広げ，深める。
 - ・自分の意見や考えを言葉でまとめ，表現することができるようにする。
 - ・準備物：教科書，資料集（クロッキーブックは基本的に美術室に置いておきます）
- ※その他の準備物はその都度連絡します。（例：美術バック（絵の具セット），色鉛筆，のり等）

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では，発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて，試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から，さまざまなものに触れたり，美術館に足を運んだり，映画を見たりすることで感動し，美しいと思う心をもつことが大切です。

令和5年度 第2学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
2, 3年美術・上下 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	長谷川 綾子	週1時間 年35時間

1 教科目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表す力を伸ばす。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする力を伸ばす。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を高める。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり (アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたり (鑑賞) することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、提出票
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術を味わう① オリエンテーション	2	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
4～9	・視点の冒険	10	・視点の違いによるイメージの変化に着目し、身近な風景から主題を生み出す。 ・構図や絵の具などを生かして表現する。	
9	・美術を味わう②	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
9～10	・つくって使って 味わう工芸	6	・目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、計画的に活動を進める。 ・材料(木)や用具の生かし方などを工夫して生活を豊かにする表現を工夫する。	

【2学期】

月	題 材	時数	学習のねらい	備 考
～1 2	・つくって使って 味わう工芸	8	・目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、計画的に活動を進める。 ・材料(木)や用具の生かし方などを工夫して生活を豊かにする表現を工夫する。	
1～2	・美術を味わう③	3	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
2～3	・仲間との交流の中から	5	・友だちと意見を出し合い、構想を練り自分なりのアイデアを生み出す。 ・みんなの力を合わせて、楽しい作品をつくる。	

4 授業への取り組み方, 準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず、作品等の提出期限を守る。
- ・聞く, 考える, 制作する, 発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し, 最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い, 見方を広げ, 深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ, 表現することができるようにする。
- ・準備物: 教科書, 資料集 (クロッキーブックは基本的に美術室に置いておきます)
※その他の準備物はその都度連絡します。(例: 美術バック(絵の具セット), 色鉛筆, のり等)

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では, 発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて, 試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から, さまざまなものに触れたり, 美術館に足を運んだり, 映画を見たりすることで感動し, 美しいと思う心をもつことが大切です。

令和5年度

第3学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
2, 3年美術・上下 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	長谷川 綾子	週1時間 年35時間

1 教科目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表す力を伸ばす。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする力を伸ばす。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を高める。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり (アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたり (鑑賞) することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、提出票
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術を味わう① オリエンテーション	2	・形や色彩、構図や描き方、制作過程から、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	
4～9	・今を生きる私へ	13	・自分の内面を見つめ、自己の確立を目指す。 ・画材の特徴を生かして描く。 ・お互いの自画像を鑑賞し、自他を尊重する気持ちを養う。	
9	・美術を味わう②	1	・形や色彩、構図や描き方、制作過程から、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	
10～	・自分へ贈る 卒業記念品	3	・限られた技法の中にも様々な表現が可能であることに気づき、自分を表現するデザインを模索する。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
～12	・自分へ贈る 卒業記念品	6	・材料（石）や道具の特性を生かして表現する。	
1	・美術を味わう③	3	・造形的なよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 自分の思いや考えをもつ。	
2～3	・心のイメージを形に	7	・感情やイメージをもとに, 素材がもつ特性や美しさを生かした表現を工夫する。 ・表したいイメージをもとに, 形や立体感などを考え, 構想を練る。	

4 授業への取り組み方, 準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
 - ・忘れ物をせず, 作品等の提出期限を守る。
 - ・聞く, 考える, 制作する, 発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
 - ・よりよい作品を目指し, 最後まで粘り強く制作する。
 - ・いろいろな作品や友達作品と向き合い, 見方を広げ, 深める。
 - ・自分の意見や考えを言葉でまとめ, 表現することができるようにする。
 - ・準備物: 教科書, 資料集 (クロッキーブックは基本的に美術室に置いておきます)
- ※その他の準備物はその都度連絡します。(例: 美術バック (絵の具セット), 色鉛筆, のり等)

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では, 発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて, 試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から, さまざまなものに触れたり, 美術館に足を運んだり, 映画を見たりすることで感動し, 美しいと思う心をもつことが大切です。